

教科	社会(地理的分野)	学年	第1学年
----	-----------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
世界の姿	4	○地球表面の様子を地球儀や世界地図を活用し、地球上の位置の表し方や球面上の位置関係をとることができる。 ○地球儀や世界地図を活用し、世界の地域区分や国々の名称と位置をもとにして世界の地域構成をとらえ、おおまかな世界地図を書ける。	○世界の地域構成について、緯経度・大陸大洋の名称・主な国名と位置など、基礎的な知識を身に付けている。 ○世界地図・地球儀・統計資料から、適切な情報を読み取り、まとめることができる。	○世界の地域構成について、緯経度・大陸・国名・地球儀と地図など、様々な観点から考察し表現している。	○世界の地域構成の基本的な枠組みについて、関心を高めて活動に参加し、探求している。
日本の姿	5	○地球儀や地図を活用し、わが国の国土の位置、世界各地との時差、領域の特色と変化、地域区分などを取りあげ、日本の地域構成を大観できる。	○地球儀や地図などから、日本の地域構成に関する情報を読み取り、処理し、まとめることができる。 ○日本の地域構成について、国土の位置、時差、領域、地域区分などの観点かえあそれぞれ理解し、知識を身に付けている。	○日本の地域構成を、国土の位置、時差、領域、地域区分など様々な観点から考察し表現している。	○日本の地域構成に対する関心を高め、世界と比較しながら意欲的に追及している。
世界各地の人々の生活と環境	8	○世界各地における人々の生活の様子とその変容について、自然および社会的条件と関連付けて考察し、世界に人々の生活や環境の多様性を理解できる。	○写真や雨温図・主題図など様々な資料を活用して、世界各地の人々の生活と環境の特徴を読み取り、まとめられる。 ○世界各地の人々の生活と環境について、自然と社会条件と関連付けて理解し、基礎的な知識を身に付けている。	○世界各地の生活・環境の特色がなぜ生じたのかについて、資料などをもとに考察し、適切に表現することができる。	○世界各地の人々の生活と環境の多様性について関心を高め、資料からその特徴を読み取ろうとしている。
世界の諸地域 アジア州 ヨーロッパ州 アフリカ州 北アメリカ州 南アメリカ州 オセアニア州	30	○世界の諸地域について、各州に暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる地理的事象を取り上げ、それをもとにした主題を設定してそれぞれの州の地域的特色を理解できる。	○世界各州の特徴について、様々な資料を収集し、その中でも調査したい主題に基づいて資料を選択して、適切に読み取ることができる。 ○複数の種類の資料を総合的に活用して、各州の特徴についてまとめることができる。 ○世界の各州の人々の生活の特徴について、自然環境・歴史的背景・他の地域とのつながりなど、様々な観点からの知識をもとに理解している。	○世界の各州の人々の生活について、自然環境・歴史的背景・他の地域とのつながりなど、様々な観点から考察し、理解を深めることができる。また、その内容について意見や考えを持ち、適切に表現して伝えることができる。	○世界の各州の地域的特色に対する関心を高め、意欲的に追及し、捉えようとしている。 ○自然・歴史的背景・他の地域とのつながりに関心を向け、現在の各州の在り方や展望について考察を深めようとしている。

教科	社会(地理的分野)	学年	第2学年
----	-----------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
世界と比べた日本の地域的特色	14	○世界的視野や日本全体の視野からみた日本の地域的特色を取りあげ、わが国の国土の特色を自然環境、人口、資源・エネルギーと産業、地域間の結びつきの視点から大観できる。	○世界と比較した日本の地域的特色に関する地図・統計・写真などの資料を読み取り、まとめることができる。 ○世界の国々と比較した日本の地域的特色について自然環境、人口、資源、産業、地域的な結びつきという観点からそれぞれ理解し、知識を身に付けている。	○日本の特色を世界の国々と比較した日本の自然環境、人口、資源、産業、地域的な結びつきなど、様々な観点から考察し、表現することができる。	○世界の国々と比較した日本の自然環境、人口、資源、産業、地域的な結びつきについて関心を高め、それぞれを意欲的に追及し捉えようとしている。
日本の諸地域 九州地方 中国・四国地方 近畿地方 中部地方 関東地方 東北地方 北海道地方	36	○日本をいくつかの地域に区分し、それぞれの地域について、自然環境、歴史的背景、産業、環境問題や環境保全、人口や都市・村落、生活・文化、他地域との結びつきのいずれかの視点に注目して地域的特色をとらえられる。	○各地方の地域的特色について、自然環境、歴史的背景、産業、環境問題や環境保全、人口や都市・村落、生活・文化、他地域との結びつきなどに関連させながら理解し、知識を身に付けている。 ○各地方の地域的特色に関する様々な資料を活用し、適切に情報を読み取りまとめることができる。	○地域的特色について、自然環境、歴史的背景、産業、環境問題や環境保全、人口や都市・村落、生活・文化、他地域との結びつきなど、様々な観点から考察し表現できる。	○各地域の特色について、自然環境、交通、人口、文化、歴史などに関連付けて追及している。

教科	社会(歴史的分野)	学年	第1学年
----	-----------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
歴史のとらえ方	6	○歴史上の人物や出来事などについて調べ、時代区分や時代の移り変わりに気付くことができる。 ○時代や年代の読み取り型を理解し、歴史を学習するための基礎的な知識を身に付ける。	○時代の大きな移り変わりに気付くとともに、年代の表し方や時代区分について理解している。 ○年表やグラフなどの資料から適切な情報を読み取りまとめることができる。	○日本の歴史の大きな流れや時代の特色を考察し、表現している。	○歴史を学ぶ意欲を高め、関心をもって学習しようとしている。
古代までの日本	19	○日本列島において人々の生活が始まり、やがて国家が形成されていった過程を東アジアの動きと関連付けて理解できる。 ○大陸の文物や制度を積極的に取り入れながら国家の体制が整えられ、天皇や貴族を中心とした政治が展開されるまでの流れを大きく捉えることができる。 ○国際的な要素を含んだ文化からやがて文化の国風化が進んでいったことを具体的な事例をもとに理解し、日本の文化財に対する関心を持つことができる。	○世界の古代文明、日本の文明の起こりとその後の展開について東アジアを中心とした世界の歴史と関連付けて理解し、知識を身に付けている。 ○地図、写真、文字資料等、系図などを用いて、政治・文化の展開とその特色についてとらえている。	○古代文明の特色、日本の文明の起こりとその後の展開について、道具の革新、地理的条件、政治、文化など、様々な視点から考察し、その特徴を表現することができる。	○世界の古代文明・日本の文明の起こりとその後の展開について興味をもち、歴史的事象について意欲的に探究している。

令和7年度 評価規準

学校名:江戸川区立小岩第四中学校

中世の日本	14	○武家社会が誕生して、武士の支配が次第に全国に広まり武家社会が発展していったという大きな時代の流れを理解できる。 ○この時代の東アジアとの密接なかわりが国内の政治に大きな影響を与えていたことを理解できる。 ○畿内の都市や農村を中心に自治的な仕組みが生まれたことを理解し、農業をはじめとした諸産業の発達について考察することができる。 ○武士や民衆の生活を背景とした文化の特色を代表的な事例を取りあげて捉え、現在に結びついてくるものに関心を持たせる。	○武家社会の成立と武家社会の発展、産業の発達と民衆の成長、東アジアとのかかわりを背景に理解し、知識を身に付けている。 ○中世の政治、経済、文化に関する様々な資料を活用して、その特色を読み取ることができる。	○古代の日本とは大きく異なる中世の政治や文化について、武家の台頭や民衆の成長の観点から考察し、特色を表現することができる。	○武家社会の成立と武家社会の発展、産業の発達と民衆の成長、東アジアとのかかわりについて関心を高め、意欲的に探究している。
-------	----	---	--	--	---

教科	社会(歴史的分野)	学年	第2学年
----	-----------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
近世の日本	21	○織田・豊臣及び江戸幕府諸政策を通じて新しく安定した社会が生まれ、その社会が長く続いたことを理解できる。 ○西洋の文化や東南アジアへの渡航など、対外関係に目を向け、交流が盛んだった時期から外国との関わりが限定的になっていった時代の流れを大まかに理解できる。 ○安定した社会が徐々に行きづまっていく原因となる社会の仕組みや経済の変化について考察する。 ○産業や交通の発達により、町人文化が生まれ、それが現在も文化財として残っていることを把握し、文化的遺産を尊重する態度を身に付ける。	○戦国時代から江戸時代の終わりまでの政治、経済、文化の主体とその特徴を理解し、知識を身に付けている。 ○図版や史料、年表を活用し、適切に情報を読み取り、戦国時代から江戸時代の終わりまでの政治、経済、文化の主体とその特徴についてまとめられる。	○戦国時代から江戸時代の終わりまでの政治、経済、文化の主体とその特徴について多面的・多角的に捉え、適切に表現している。	○戦国時代から江戸時代の終わりまでの政治、経済、文化の主体とその特徴の変化について関心をもち、意欲的に追及している。
近代日本の歩み	25	○欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出してきたことを理解できる。 ○江戸幕府が滅亡して新しく成立した明治政府の行った改革の特色をとらえ、明治維新が日本の近代国家の仲間入りに大きな影響を及ぼしたことを理解する。 ○議会政治が日本で始まり、日本の国際的地位が高まったことをその他の世界との関わりからとらえる。また、当時の国際関係を理解し、日清・日露戦争が起きた原因について考察することができる。 ○近代産業の発展が近代文化を形成させたことを理解できる。	○欧米との関わり、明治維新による日本の近代化のあらましを理解し、知識を身に付ける。 ○図版や史料、年表を活用し、近代国家へ変わっていく過程で起きた開国や明治維新、自由民権運動などの事象について考察するための適切な情報を得ている。	○政治・経済・文化といった様々な観点から考察し、近代国家へ変わっていく過程で起きた開国や明治維新、自由民権運動などの事象について表現することができる。	○日本の開国から近代国家の成立までの過程を欧米諸国との関わりという観点からとらえ、現代の日本につながる変化について意欲的に探究している。

教科	社会(歴史的分野)	学年	第3学年
----	-----------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
近代日本の歩み	12	○欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出してきたことを理解できる。 ○江戸幕府が滅亡して新しく成立した明治政府の行った改革の特色をとらえ、明治維新が日本の近代国家の仲間入りに大きな影響を及ぼしたことを理解する。 ○議会政治が日本で始まり、日本の国際的地位が高まったことをその他の世界との関わりからとらえる。また、当時の国際関係を理解し、日清・日露戦争が起きた原因について考察することができる。 ○近代産業の発展が近代文化を形成させたことを理解できる。	○欧米との関わり、明治維新による日本の近代化のあらましを理解し、知識を身に付ける。 ○図版や史料、年表を活用し、近代国家へ変わっていく過程で起きた開国や明治維新、自由民権運動などの事象について考察するための適切な情報を得ている。	○政治・経済・文化といった様々な観点から考察し、近代国家へ変わっていく過程で起きた開国や明治維新、自由民権運動などの事象について表現することができる。	○日本の開国から近代国家の成立までの過程を欧米諸国との関わりという観点からとらえ、現代の日本につながる変化について意欲的に探究している。
二度の世界大戦と日本	20	○第一次世界大戦前後の国際情勢を背景に、日本の国際的地位の変化や大正時代の政党政治の発達、民主主義思想の普及、社会運動の動きを通して日本国民の政治的自覚が高まったことを理解できる。 ○昭和初期から第二次世界大戦終結までの日本の政治・経済・外交の動きなどを、東アジア諸国との関係や欧米諸国の動きに着目させながら、経済の混乱、軍部の台頭、戦争の経緯と対戦の惨禍を理解できる。 ○戦時下の国民生活をな	○世界大戦とその間の出来事の概要を理解し、大戦時の日本の動きについて理解し、知識を身に付けている。 ○客観的な統計から、当時の世界情勢を読み取っている。 ○資料を活用し、当時の生活の様子を読み取っている。	○各国の動きについて公正に判断し、世界の動きと関連させながら、当時の日本の取るべき道を判断し、自分の意見を述べている。	○世界大戦について関心を持ち、なぜ戦争を引き起こしたかについて追及している。

令和7年度 評価規準

学校名：江戸川区立小岩第四中学校

現代の日本と世界	6	○第二次世界大戦の原因や概要について理解できる。 ○ヨーロッパやアジアの動きを比較しながら日本の動向を考えることができる。 ○戦争の被害と加害の実態を調べ、当時の人々の思いを理解しようという態度を養う。	○終戦から現在に至るまでの出来事の概要、問題点と将来の課題について理解し、知識を身に付けている。 ○数量的資料や写真などを積極的に活用して、当時の生活の様子を実感している。	○戦後の日本の歩みについて考え、時代が大きく変わる時期をとらえ、自分の意見を述べている。	○身近な人の体験などを積極的に聞き、歴史全体と関連付けている。 ○地球市民として世界的視野を求めようとしている。
----------	---	--	--	---	--

教科	社会(公民的分野)	学年	第3学年
----	-----------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1章 現代社会と私たち	13	現代日本の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などがいられることについて理解する。 現代社会における文化の意義や影響を理解する。 位置や空間的な広がり、推移や変化に着目して少子高齢化、情報化、グローバル化などが現在と将来の政治や経済、国際関係に与える影響について多面的・多角的に考察し、表現する。 対立と合意、公正と効率の概念を理解する。 人間が社会的存在であることをもとに、個人の尊厳と両性の本質的な平等、契約の重要性などを理解する。 現代社会に見られる課題を自らの学習を振り返りながら考察し、主体的かつ粘り強く社会に関わろうとする態度をもつ	現代日本の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などがみられることを理解する。 文化の意義と影響を理解する。 対立と合意、公正と効率の概念を理解する。 人間が社会的存在であること、個人の尊厳や本質的平等、契約の意義と責任について理解している。	位置や空間的な広がり、推移や変化に着目して、現代日本の実態や政治・経済・国際関係、文化の継承と創造、社会生活における物事の決定の仕方について多面的・多角的に考察し、表現している。	現代社会の特色について、現代社会が抱える課題の解決に向けて、自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的にかかわろうとしている。

令和7年度 評価規準

学校名:江戸川区立小岩第四中学校

2章 個人の尊重と日本国憲法	16	人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深め、法の意義を理解する。 民主的な社会生活と法の結びつきを理解し、民主主義の意義と政治に主体的に参加する態度を養う。 日本国憲法の原理・原則を理科する。	基本的人権の楽手を中心に個人の尊重に対する理解を深めている。 法の大切さを社会生活と結び付けて理解している。 日本国憲法の原理・原則や国民統合の象徴としての天皇の地位について理解している。	個人の尊重と法の支配について、対立と合意、公正と効率の視点から多面的・多角的に考察し、まとめている。	人間の尊重や日本国憲法について、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている
3章 現代の民主政治と社会	23	日本の民主政治の仕組みが成立するまでの歴史や政党の役割を理解するとともに、議会制民主主義の意義や多数決の原理とそのあり方について考察する。 国民の権利とそれを保障ための法に基づく公正な裁判について理解する。 地方自治の基本的な考え方を理解し、地方自治体の政治の仕組みや住民の権利と義務について考察する。 国民の政治参加の方法を、対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配など、多面的・多角的に考察・構想し、表現する。 民主政治と政治参加の意義について理解し、現代社会の課題解決に向けて、自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、社会に主体的にかかわる態度を養う。	国会を中心とする日本の民主主義のあらましや政党の役割を理解する。 議会制民主主義の意義、多数決の原理の運用とそのあり方について理解する。 国民の権利を守り、社会の秩序を維持するために法に基づく公正な裁判の補償があることを理解する。 地方自治体の政治の仕組みや住民の権利と義務の学習を通じて、地方自治の基本的な考え方を理解する。	対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などの視点から、国民の政治参加について対話的活動を通じて学習を深め、多面的・多角的に考察・構想し、表現している。	民主政治と政治参加について、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている

令和7年度 評価規準

学校名:江戸川区立小岩第四中学校

4章 わたしたちの暮らしと経済	22	○身近で具体的な事例から経済に対する関心を高めることができる。 ○統計資料から適切に情報を読み取り、経済に親しませ私たちの直面する経済的な課題に主体的に関わり、解決しようとする態度を養う。 ○身近な事例をもとに、消費生活や消費者としての自覚、流通の原理について理解できる。	○消費や労働・生産、金融、市場経済、社会福祉について理解し、知識を身に付けている。 ○様々な資料から、現代の経済活動の様子や課題について適切に読み取っている。 ○資料を活用し、当時の生活の様子を読み取っている。	○経済的事象と課題について多面的に考察している。	○身近な経済的事象に関心を持ち、課題について意欲的に追及している。
5章 地球社会とわたしたち	5	○国際社会の現状や課題に対する関心を高め、日本の果たすべき国際的な役割について考えることができる。 ○国際社会の現状や課題についての様々な資料を収集・選択し、適切に読み取ることができる。 ○世界平和の実現と人類の福祉の増大のために、各国が互いに主権を尊重し協力し合うことが大切であると理解できる。 ○国際機構やNGOが国際社会の諸課題を解決するために重要な役割を担っていることを理解できる。	○国家間の主権の尊重、国際理解、国際社会の課題と解決に向けた取り組みについて理解し、知識を身に付けている。 ○様々な資料から国際社会の課題について適切に読み取っている。	○様々な資料から国際社会の抱える課題を見出し考察し、適切にまとめて表現している。	○国際社会の課題について関心を持ち、解決に向けた取組を意欲的に探究している。